

# 工高生と保護者が参加

## 県営住宅現場で見学会

兵庫県ら協議会

兵庫県などの行政機関と建設業団体らで構成する兵庫県建設業育成魅力アップ協議会は4日、建設系高校生の保護者らに工事現場の仕事内容を知ってもらおうと、神戸市西区で建て替え工事が進む県営住宅で現場見学会を開いた。県立東播工業高校の生徒と保護者ら11人が参加し、住宅建築工事の施工過程を見学した。見学したのは原田工務店(姫路市)が施工する「県営明石舞子北第1住宅第2期建築工事」。3期に分けて県営住宅を建て替え集約するもので、RC造8階建て1棟延べ3412平方メートル(64戸)の建築工事が進め



内装工事を見学する  
工高生と保護者ら

られている。

最初に事務所で同社の原田健吾社長や、現場を指揮する大森一所長が工事概要

や進捗(しんちよく)状況、現場監督の仕事内容などを説明。その後、参加者らは大森所長の説明を受けながら、7階から下階に向かって間取り別に内装仕上げの様子を見学した。

最後の質疑応答のコーナーでは、保護者らが新入社員のスキルアップや現場の安全対策などについて質問していた。原田社長らは、先輩社員によるサポート体制があることや、安全教育を通じて職人とのコミュニケーションが築き上がることなどを説明。「資格取得の支援などで能力をステップアップできるので安心してほしい」と話した。

参加した保護者は「現場の仕事内容を詳しく知ることができた。子どもの就職先の選択肢が広がった」と話していた。